

事業者向け 令和元年度 放課後等デイサービス 自己評価表(地域生活支援センター「える」)

公表:令和元年12月1日

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	0	・設置基準に比べてかなり広く設けられており、部屋ごとパーテーションでの開閉が行えます。 ・一つ一つの室内をさらに複数のエリアに分けるなど個別に配慮しやすいようにさらにパーテーションや棚などの購入を行い、クラスにあった環境を設定していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	0	・加配加算分の職員に加えて、音楽講師なども配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	0	・当日のグループ療育参加したスタッフにて振り返りを行いつつ記録を書いています。 ・各クラス担当での話し合いは随時行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	0	・今回実施した保護者アンケートとその改善策について取り組んでいきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3	0	・ホームページにて行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	0	・稲城市、多摩市ともに補助金対象となっていないため、負担が高く取り組めていない状況にあります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	0	・法人内研修としては、法人全体で年に2回。新任研修など実施しています。 ・令和二年度は職員個別に取り組むテーマを決めて外部研修にも派遣を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	1	・アセスメントの書式は現在使用しているものから改訂作業を行っております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	0	・毎年保護者へもアセスメントシートを記入して頂いています。 ・より計画から支援に情報が円滑に活かせるための書式を現在担当者にて作成を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3	0	・クラス担当と管理者、児童発達管理責任者などと話し合いながらその日ごとのグループにあった活動を設定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3	0	・固定化しないように工夫しているが、クラスのメンバーによってはある程度固定にして安心して参加できるようにしています。 ・利用児の要望や、話し合いや相談をしながら作成していくグループもあります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	0	・一日利用の際には1つのクラスをさらに複数の小集団に分けるなど、子どもの過ごし方や興味に合わせて設定しています。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	・活動に応じて、クラス全体での実施だけではなく、個別や小集団での実施など子どもが集中しやすい環境を設定しています。	

事業者向け 令和元年度 放課後等デイサービス 自己評価表(地域生活支援センター「える」)

公表:令和元年12月1日

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、改善すべき点など
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	・全員で打ち合わせができない場合もありますが、日案を事前に作成し、当日参加する職員で共有してから支援に臨んでいます。 ・また、日案と合わせて当日のスタッフ全体の動きの確認も支援前に行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	2	0	・記録作成をしながら一日の流れや、対応が難しかった場面などを振り返っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	・支援に関わる職員全体により使いやすい書式について見直しの作業を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	1	・現在半年に一回の面談を行いつつ改訂していますが、必要や要望に応じて更新することができます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	1	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	・児童発達管理責任者が中心となっていますが、グループの担当スタッフなど必要に応じて派遣しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	2	0	・保護者を通して伺う場合が多いですが、個別に確認など行っております。 ・個別に配慮が必要な利用児については学校側と送迎の際のやりとりなどを行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	0	・現在医療的ケアが必要な利用児が在籍していませんが、必要に応じて法人本部の医務課等とも連携していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	・新規受け入れ時には児童発達支援事業所からの情報提供も頂いています。 ・必要に応じて児童発達支援事業の担当者との情報交換は保護者同意の元で行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	2	・現在まで卒業し、通所へと至った方が居ませんが、情報提供についてはご要望に応じて行います。

事業者向け 令和元年度 放課後等デイサービス 自己評価表(地域生活支援センター「える」)

公表:令和元年12月1日

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	1	・現在地域に機関が無い状況ですが、レスポ一いなぎや、相談支援事業所とも連携を行っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	4	・利用児によっては新奇の方との関わり自体が負荷となる場合もあり、実施していないクラスもあります。保護者、利用児のニースを聞き取りながら判断していきたいと思ひます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	0	・法人として代表者が参加しています。 ・協議会とは別に市内の子ども分野の連絡会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	・連絡帳、送迎時に話すことで情報共有を行っています。 ・相談等が必要な際には電話でのやりとりを積極的に行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	4	2	・ペアレントトレーニングは現在実施しておりません、相談支援事業所やレスポ一いなぎと連携し、情報提供等の場について開催を検討中です。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2	0	・利用契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3	0	・面談時に家庭での過ごし方や関り方などについてもご相談頂いています。 ・必要に応じて関係機関の紹介などを行っています。 ・短期入所、日中一時など事業所の持つ複数のサービスを組み合わせて対応する場合もあります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	3	・現在実施していない状況となっています。ご利用される児童も学級、年齢など幅広い為、どういったテーマで開催すると保護者の皆様にとっても有益な会になるのか悩んでしまっています。令和二年度中にはアンケートにてテーマなどを募集したいと思ひます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	・苦情解決のための手順が法人として定められており、過去該当した場合には手順に応じて対応を行っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	・毎月えるだよりを配布しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	2	0	・情報提供が必要な際には必ず保護者に同意を確認しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	・スケジュールや個別のコミュニケーションカードなど視覚的なツールなども準備しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	3	・利用児の中には新規の方との接触が負担になる場合も多く、現在実施しておりません。

事業者向け 令和元年度 放課後等デイサービス 自己評価表(地域生活支援センター「える」)

公表:令和元年12月1日

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	工夫している点、改善すべき点など
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	0	・作成はしてあるが、保護者への周知は行っていなかったため、今後情報提供を行っていきます。 ・マニュアルも定期的に見直しと作り直しを行っていきます。 ・必要な取組については、随時書面にて職員に配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	3	1	・「える」全体として月1回の実施を行っていきます。(救命救急等、職員の訓練を含む)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	1	・虐待防止委員会を定めています。また月1回の全体会議の中で話し合いの時間を設けていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	2	・手順については定めているが、実施したことはありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3	1	・おやつ保管場所にもアレルギーのある方の一覧を掲示しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	0	・インシデント、アクシデントレポートでの報告を行っています。 ・全てのレポートは毎月の会議にて職員全体への周知、対応、また改善の話し合いを行っています。